

町の生活情報紙
— IIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいいで

4

14, April
2011
Vol.1009

飯豊町で安心して
学んで欲しい。

写真/添川小学校、始業式の日。教室で、
地元の児童たちと一緒に先生の話に耳を傾
ける福島県から避難してきた子どもたち

- 03 クローズ・アップ
地震発生からの町の動きを追う
- 04 町の対応
- 06 広がる支援の輪
- 08 ひと目でわかる！役場利用ガイド
各部署はどの建物にあって、何を担当しているのか
- 10 職員はどのように配置されているのか
- 12 町内小中学校 教職員の異動／新しい町職員の紹介
- 13 施設の位置図
- 14 平成23年度の施政方針と予算
町政運営の基本方針と主要な施策の概要
- 16 町の予算
- 18 まちかどNEWS
全国中学生創造ものづくり教育フェア厚生労働大臣賞受賞／男性のための料理教室／東京飯豊会総会ほか
- 20 直伝おふくろの味
- 21 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 22 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 24 町宝いいで
～天養寺観音堂 絵馬 草摺挽図、神人曳馬図～

町のホームページから

さらに情報を！

町からのお知らせや情報は、
飯豊町ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
でも紹介しています。
知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページ
の検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ
簡単に移動することができます。

こちらのボックスに
「検索キーワード」を
打ち込んでください。



今月の

表紙

避難してきた子どもたちと共に新学期開始

4月6日、添川小学校で始業式が行われました。今期から、福島県から避難してきた児童15名が転入。地元の児童たちと一緒に勉強することになりました。

式の中で渡部恭子校長は、「新しいお友達が、安心して学校生活を送られるように、思いやりと優しい心で迎え入れましょう」と全校児童に呼びかけました。

今春、町内各小中学校には、合わせて28人の児童・生徒が転入学しました。



初対面のあいさつをし合う児童たち



the most beautiful
villages
in japan
「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

写真／町民の皆さんから寄せられた多くの救援物資は、白樺地区公民館に集められ、ボランティアの方々によって仕分け作業が行われた

平成 23 年 3 月 11 日、午後 2 時 46 分ごろ
東北地方太平洋沖地震発生

町に広がる支援の輪

HIDE-AID

CLOSE-UP

地震発生からの 町の動きを追う

日を追うごとにその被害の大きさが明らかになっていく東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）。飯豊町では震度 4 を記録したものの、幸い被害はほとんどなくて済んだ。しかし、被災地の隣県の町として、復興支援や災害対策の手を休めることはできない。地震発生から今日までの町の対応を追うとともに、関係者の声などを聞いた。



【使命】住民の生活を守ることに。

町地震対策本部の会議の様子。停電や燃料不足など日々情勢が変る中で、連日会議を開き、状況を把握し迅速な対策を講じるように努めた

東日本大震災

町の対応



(((地震発生から15分後に町地震対策本部を設置

3月11日、14時46分ごろ、太平洋三陸沖を震源とする、マグニチュード9.0の巨大地震が東日本を襲いました。

本町では震度4を記録。今までに経験したことのない大きな揺れを感じました。

町では地震発生後直ちに、後藤町長を本部長とする「飯豊町地震対策本部」を設置。本部会議では「地震による町内の被害状況の把握と、住民の安全確保に万全を期すこと」などが指示されました。

幸いにも、人的被害はもとより、道路、上下水道などのライフラインや学校などの公共施設には被害がなくて済みました。

しかし、地震発生後から萩生、中、黒沢地区の一角が停電となり、生活に支障が生じました。特に、今年例年になく春の訪れが遅く、寒い日が続いていたため、各家庭の暖の確保が懸念されました。町では、高齢者世帯を対象に、停電を免れた樁地内のこどもみらい館に避難所を設け、消防団と町職員とで、高齢者世帯を戸別訪問し、希望のあった8人の方を避難所まで誘導しました。さらに老人福祉施設「ケアハウスめざみ」(萩生)の利用者30名を、同じく樁地内の町社会福祉協議会「福祉の里

めざみ」の施設へ移動するよう誘導しました。

停電の影響は上下水道にも及びました。5階建て町営アパート「いいでハイツ」(萩生)では、上水道用の屋上タンクに水が上がらなくなり、町職員が対応して住民に給水活動を行いました。

下水道では、萩生地区農業集落排水処理施設(萩生)と中地区農業集落排水処理施設(黒沢)が停電で下水処理ができなくなったため、地域住民へ広報車で節水をお願いするとともに、急遽、発電機を導入して浄水処理の機能の確保に努めました。

このように町では、地震当日、関係機関や事業所と協力し、想定外の事態の中で住民生活の安全確保に全力を挙げました。

その後も、東北地方を襲った地震と津波による甚大な被害は、本町にも影響を及ぼしました。

一つ目は、ガソリンなどの燃料不足です。町では町内外のガソリンスタンドの協力を得て、連携をとりながら、優先される福祉施設やごみ収集車、緊急車両などの燃料確保に努めました。

二つ目は、福島第一原子力発電所の事故による被災者の受け入れです。3月15日、山形県は山形県少年自然の家(添川)で被災者の受け入れを開始。町で



本町の一部の地域では、2日間にわたって停電に見舞われ、スーパーではレジが使えなくなったほか、冷凍・冷蔵庫が機能しなくなり一部の食品が店頭から姿を消した



震災で宮城県の製油施設が被災し、ガソリンなどの燃料の流通が滞った。ガソリンスタンドの前には燃料を買い求めようと車の長い列ができるなどの混乱が生じた



3月15日、部落長等および自主防災組織代表者へ災害状況の報告会を開催。「皆さんの知恵を結集し、この難局を乗り切りましょう」と後藤町長は呼びかけた

地震発生直後の町の対応

3月11日

- 14:46ごろ
 - 東北地方太平洋沖地震発生
 - 本町で震度4を記録
- 15:00
 - 飯豊町地震対策本部を設置
 - 町内の道路、公共施設などの被害状況調査を開始
 - 学校の状況を確認。余震が収まり次第、速やかな一斉下校を指示
- 15:30
 - 高齢者世帯、障がい者のいる世帯の安全確認調査を開始
- 16:00
 - 中、萩生、黒沢、椿の一部で停電発生の情報。停電エリアの調査を開始
- 17:00
 - 停電のため「ケアハウスめざみ」の入所者30人を「福祉の里めざみ」へ移動
 - 停電のため萩生地区・中地区農業集落排水処理施設に発電機を導入し、機能を確保。対象地域の住民へ節水を広報車で呼びかける
- 18:30
 - 高齢者世帯のための避難所をこどもみらい館に設営
 - 消防団・町職員による停電地内の一人暮らし高齢者へ戸別訪問し、避難所開設などのお知らせを開始
- 19:30
 - 避難所に高齢者など8人が避難
- 21:00
 - 停電地区が一部復旧
- 22:00
 - 停電のため「いいでハイツ」の水道用の屋上タンクが機能停止。住民への給水活動を実施
 - 停電復旧地区の避難者一部帰宅

今後、地震の影響は長期化、広範囲になることを見込み、町では、3月16日に町地震対策本部の組織を強化。各部署の職員を横断的に班編成に組み込みました。さらに4月4日、新年度の人事異動に伴って組織を新たに再編し、地震対策に当たることになりました。町ではこれからも対策の手を緩めることなく、東北地方復興に向けた一役を担っていかうと決意しています。避難されている方々への支援も含め、今後も町民の皆さんのご協力をよろしく願います。

も東部地区公民館（添川）、白樺地区公民館（椿）に公設の避難所を設営。さらに町は、温泉施設の特別入浴券の配布や健康調査、介護保険サービスの斡旋、子どもの就学相談などを実施し、避難された方の状況に即した支援に努めてきました。今も206名（4月8日現在）の方が飯豊町に避難されています。町中の店舗から燃料や品物が不足し始めた折の3月15日、町は部落長等および自主防災組織代表者への「災害状況報告会」を開催。一連の対応と方針を説明し、後藤町長は「住民の皆さんの知恵を結集し、この難局を乗り切りましょう」と呼びかけました。

東日本大震災

広がる支援の輪

避難所となった白樺地区公民館では、募金箱も設置。地域の皆さんの募金や差し入れを受けて、職員の川崎てい子さんは「地域の方々の頼もしさと人の良さをあらためて実感することができました」と話します。



避難所となった東部地区公民館には、連日のように町民の方々から支援物資が届きました。さらに東部地区では、地区内の各部落が、輪番制で食料などの物資を東部地区公民館に届け、継続的な支援を行いました。

少しでも被災された方の助けになりたいと、町内外の多くの方から義援金や救援物資が寄せられ、ボランティアの志願がありました。さらには自治会ごとにまとまって、県外から避難してきた人たちの支援する活動もみられました。広がる支援の輪の中で、それぞれの立場の人たちの声を聞きました。

被災地の惨状を見て、ボランティアを決意

加藤寛次さん（黒沢・64歳）

津波で家が流され、家族と離れ離れになって避難所での生活を送る被災地の皆さんをテレビで見て、ささやかでも力になりたいと思い、町のボランティアに申し込みました。

町内から集まったたくさんの救援物資を見て、皆さんも心を同じくして、人助けをしたいという強い気持ちがあることを感じ取ることができました。

（取材／3月25日、白樺地区公民館にて）



中学時代の友達と共にボランティアに志願

高橋夏実さん（萩生・18歳）

同じ東北地方で幸運にも被害のなかった私たちが、被災した人たちのために何かできることはないかと考え、中学校時代の友達5人で町のボランティアに申し込みました。町内からたくさんの日用品や衣類などの救援物資が集まり驚きました。ただ、中には汚れている衣類なども混ざっているようでした。使う人の気持ちを考えて物資の提供をしなければならいと感じました。

（取材／3月25日、白樺地区公民館にて）





町民の皆さんの善意、ありがとうございます

義援金額／4,466,698円

(4月1日現在、日本赤十字山形県支部飯豊分区受付分)

ボランティア登録／個人76人、7団体、8事業所

(4月8日現在、飯豊町が募集した町内でのボランティア活動分)

救援物資／精米、飲料水、日用品、医薬品、衣類など多数



写真奥左が渡邊良博さん。ご家族、親類の方々とともに

避難所にて、町の人の温かさに触れ感謝

渡邊良博さん(南相馬市・44歳)

原子力発電所の事故を受け、妻の実家の家族と共に総勢11人で山形県へ避難してきました。

白樺地区の皆さんには、毎日のように食料品や日用品などのご提供をいただきました。また、私たちの子どもたちと一緒に遊ぶようと、近隣の方がお子さんを集めて連れてきてくれたこともありました。飯豊町の人たちの心の温かさに触れ、本当に感謝の気持ちで一杯です。

(取材／3月25日、白樺地区公民館にて)

いいでハイツに入居し、新しい生活を始める

前田美幸さん(南相馬市・34歳)

子どもの健康と教育を考え、飯豊町に腰を落ち着け「いいでハイツ」へ入居することを決めました。長女は今学期から第一小学校でお世話になります。

地域の方々からは多くのご支援をいただき感謝しています。しかし、仕事を失い、今後の生活をどうやって立てるか不安は大きいままで。生活が安定するまで、どうか行政にはご支援をいただきたいと願っています。

(取材／4月5日、いいでハイツにて)



写真中央右が前田美幸さん



先生方の協力を得て学習支援教室

3月28日から31日にかけて、添川小学校を会場に、県外から避難してきた小・中学生の学習と運動の場を提供する学習支援教室がありました。町教育委員会の呼びかけにより、町内小・中学校の先生の協力を得て実施。初日は児童・生徒約25名が参加し、テキストを使って勉強の指導を受けたり、理科の実験教室などを楽しみました。

町内ではほかにも、多くの個人や団体、法人の皆さんが技術や特技を生かし、炊き出しや理容、マッサージなどを避難された方たちへ奉仕活動されました。

住民のために働く行政を。
住民の期待に応える
公平で公正な行政運営を。

section's affairs

健康福祉センター

- 健康福祉課
福祉室・地域包括支援センター
☎86-2233 FAX86-2230
健康医療室 ☎86-2338 FAX86-2230
- 訪問看護ステーション
☎86-2232 FAX86-2229
- 国保診療所 ☎72-2300 FAX72-3375
- 介護老人保健施設「美の里」
☎86-2117 FAX86-2118

健康福祉課の主な業務

健康福祉課

健康医療室 / 医療、健康推進、健康診断、予防接種、母子保健、感染症予防、食生活改善
 福祉室 / 高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、介護保険
 地域包括支援センター / 高齢者総合相談窓口、介護予防
 訪問看護ステーション / 訪問看護（主治医の指示による療養上の世話・診療補助）

町民総合センター

- 町民総合センター「あ～す」
まちづくり室・図書室
☎72-3111 FAX72-3163
- こどもみらい館
☎72-3336

まちづくり室の主な業務

教育委員会・教育文化課

まちづくり室 / 町民総合センター運営、音楽からのまちづくり、文化振興、芸能、めざまの里まつり





ひと目でわかる！ 役場利用ガイド

役場の各課はどんな業務を担当していて、職員体制はどうなっているのか。
また、どこの施設にあるのか。町民の皆さんがひと目でわかるようにお知らせします。



各部署はどの建物にあって、 何を担当しているのか

役場庁舎内

TEL 72-2111(代) FAX 72-3827



役場内にある部署の主な業務

1 階

住民税務課

住民室／戸籍、住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録、埋火葬の許可、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金

生活環境室／消防、防災、防犯、山岳遭難、交通安全、環境衛生、環境保全、廃棄物処理、住民相談、墓地、犬の登録、公共交通、消費者行政

税務室／住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税

納税支援室／町税の納税支援

会計室／公金支払い、現金の出納、物品の管理、指定金融機関

地域整備課

建設室／道路、橋梁、河川、建築確認、町営住宅、公共土木施設
災害復旧工事、除雪

上下水道室／水道、水道料金、水

道開栓・閉栓、農業集落排水、農業集落排水使用料、合併浄化槽、個別処理使用料

教育委員会・教育文化課

学校教育振興室／教育、学校、スクールバス、学校給食、奨学金

生涯学習振興室／生涯学習、公民館、文化財、生涯スポーツ、青少年健全育成

子育て支援室／子育て支援、幼稚園、保育園、児童虐待防止

※まちづくり室は町民総合センター「あ～す」内

2 階

総務企画課・選挙管理委員会事務局

総務情報室／町長秘書、広報、選挙、自治組織、入札、情報化、町有財産、統計

総合政策室／座談会、陳情要望、地域活動支援、財政、予算、総合計画、土地利用計画、白川ダム、NPO

産業振興課

農業振興室／農業振興、生産調整、農業経営、畜産振興、地産地消

農林整備室／農地保全、農村環境整備、財産区、林業振興、山林保全、治山、治水、砂防

商工観光室／商業、工業、観光、雇用、労働者、観光開発、特産品、観光物産、第3セクター

プロジェクト推進室／にぎわい再現プロジェクト

農業委員会事務局

農地管理室／農業委員、農地の権利、農地転用、農業者年金、新規就農支援、担い手

3 階

議会事務局・監査委員

町議会、町行政と財務の監査



職員はどのように配置されているのか 平成23年度の新体制

町民総合センター

(併)所長 嘉藤正憲(異)
まちづくり室
室長 伊藤毅
主査 竹田裕一
主事 本間和宏
主事補 菅野靖子(新)

学校教職員

教育文化課学校教育振興室
所管
第一小 赤間武
添川小 菅野学
飯豊中 木村和弘

学校給食共同調理場

(兼)場長 嘉藤正憲(異)
調理長 島田章久(昇)
調理師 五十嵐信子
栄養教諭 山口薫(派)

保育園・幼稚園

つばき保育園
園長 須貝喜代子
主査 館石みゆき(異)
主査 藤川典子(異)
主任保育士 佐藤麻理子
主任保育士 遠藤理恵子
保育士 志田登紀子
保育士 多田野唯
調理師 渡辺豊子
さゆり保育園
園長 鈴木真理子
主査 長沼静子(異)(昇)
主任保育士 後藤恵美子(異)
主任保育士 高世恵美子
保育士 安部早苗
主任調理師
長谷崎まさよ

いいで中部幼稚園

園長 熊野伸子(異)
主査 井上弘子
教諭 岡田恵美
手ノ子幼稚園
園長 菊地文子
主査 渡部銘子(異)
主任教諭 八島秀子
添川児童センター
館長 横澤喜美子(異)(昇)
主査 鈴木美紀子
主任児童厚生員

伊藤やよい
こどもみらい館
館長 長岡とし子(異)

健康福祉センター

国保診療所



所長(医師) 後藤 剛(派)
(併)介護老人保健施設長
医師 武田真一
(4月30日まで)



(兼)事務長
山口四郎右衛門
主査 後藤智美
主任看護師
齋藤亜希子(派)
(兼)主任看護師
渡部みゑ子(派)

健康福祉課



課長 川崎祐次郎(異)(昇)
(兼)地域包括支援センター
所長／(兼)訪問看護ステーション所長

健康医療室

室長 伊藤紀代子
主査 志田ちあき
主任保健師 渡部真知子
保健師 遠藤悦子
保健師 太田淳美(新)

福祉室

室長 古川正次郎
主任 佃典子(異)
主任 宮川千鶴子
主事 嵐正人

地域包括支援センター

所長補佐 志田庸子
主任(兼)社会福祉主事
渡辺裕和
保健師 鈴木崇文(異)

訪問看護ステーション

(兼)管理者
伊藤紀代子
看護師 高橋浩子(新)
看護師(嘱託)
嶋貫玲子
看護師(嘱託)
河井祐子

介護老人保健施設

(兼)事務長
山口四郎右衛門
(兼)主査 後藤智美
主任看護師 峯村智美
看護師 手塚優子
看護師 鈴木優子
主任理学療法士
井上由香
作業療法士 木村康之
療養専門員(嘱託)
井上民子
看護師(嘱託)
吉田江美

附属中津川診療所

(併)医師 武田真一
(4月30日まで)
(兼)事務長
山口四郎右衛門
(兼)主査 後藤智美
主任看護師
渡部みゑ子(派)

総務企画課付

町社会福祉協議会派遣



課長 横澤吉和(異)(昇)

いいで福祉会派遣



課長 渡部 恵介

置賜広域病院組合派遣

室長 立石美智雄(異)
主任 木村忍

平成22年度退職職員

3月31日をもって、次の方々が退職されました。カッコ内は前職名です。
嘉藤輝雄(新行財政改革担当課長)
舟山直志(健康福祉課長)
大友俊治(会計管理者)
手塚幸一(住民税務課生活環境室長)
手塚かずゑ(住民税務課会計室長)
宇津木二郎(学校給食共同調理場調理長)
渡部順子(いいで中部幼稚園長)

内外の情勢を敏感に捉え 適切な対策を講じ 迅速かつ的確に対応します。

personnel



町長 後藤 幸平



副町長 後藤 博信



教育長 佐藤 晴樹

役場 1 階

会計管理者



加藤 正二 (異)

住民 税務 課



課長 那須 隆 (異)

住民 室

- 室長 鈴木正之 (異)
- 主査 手塚寿子
- 主事 鈴木朋恵 (異)
- 主事 井上克行
- 主事 松田典子 (異)
- 主事補 二瓶綾

生活 環境 室

- 室長 伊藤芳典 (異) (昇)
- 主査 高橋もと子
- 主査 山口努
- 主事 島貫貴

税 務 室

- 室長 後藤圭一
- 主査 金田正寿
- 主事 船山泰宏
- 主事補 井上優里
- 主事補 嶋貫大地 (新)

納 税 支 援 室

- 室長 渡部忠善 (異)
- 主査 大谷部良明 (異) (昇)
- 主事 長岡智子
- 嘱託 大澤昭弘

会 計 室

- (兼)室長 那須隆 (異)
- 主査 鈴木頼子 (異)
- 主任 五十嵐恵美

地 域 整 備 課



課長 佐藤 誠一郎

建 設 室

- 室長 渡部和浩
- 主査 上田信幸
- 主任 細谷美佳 (異)
- 主事 井上雄俊
- 技師 井上友和
- 技師 坂爪稔

上 下 水 道 室

- 室長 佐藤秀悦
- 主査 安部吉郎
- 主査 高橋成樹
- 主任 船山智香子
- 技師 伊藤貴広

教育委員会 教育文化課



課長 嘉藤 正憲 (異)

学 校 教 育 振 興 室

- 室長 齋藤隆
- 指導主事 佐藤健
- 主任 小松絵美 (異)
- 主事 長岡佳奈
- 嘱託 手塚娃子

生 涯 学 習 振 興 室

- 室長 手塚秀幸
- 主事 佐原芳寿
- 主事補 菅野邦彰 (新)

子 育 て 支 援 室

- 室長 志田政浩 (異) (昇)
- 主任 遠藤克之
- ※まちづくり室は、町民総合センター「あ〜す」内

役場 2 階

総 務 企 画 課



課長 嶋 貫 吉 晴

総 務 情 報 室

- 室長 伊藤勝昭
- 主査 後藤美和子
- 主査 高橋弘之
- 運転長 渡部勇一
- 主任 横山昌則
- 主事 横澤剛

- 主事 島貫美里 (異)
 - 主事補 佐藤祐子
- ### 総 合 政 策 室
- 室長 安部信弘
 - 主査 鈴木祐司
 - 主査 竹田辰秀
 - 主査 館石修 (異)
 - 主事 本間真紀

選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局

- (併)書記長 嶋貫吉晴
- (併)書記 伊藤勝昭
- (併)書記 後藤美和子
- (併)書記 高橋弘之
- (併)書記 横山昌則
- (併)書記 横澤剛
- (併)書記 島貫美里 (異)
- (併)書記 佐藤祐子

産 業 振 興 課



課長 宇津木 耕一

産 業 政 策 担 当



課長 小松 一 芳 (異)

農 業 振 興 室

- 室長 後藤洋
- 主査 手塚賢太郎 (異)
- 主査 伊藤満世子
- 主事 佐藤智昭
- 主事 木村辰司
- 主事 舟山正貴

農 林 整 備 室

- 室長 齋藤浩
 - 主査 伊藤敏英 (異)
 - 技師 鈴木直紀
- ### 商 工 観 光 室
- (兼)室長 小松一芳 (異)
 - 主任 勝見賢太郎
 - 主事 井上由佳

プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 室

- (兼)室長 小松一芳 (異)
- 主任 渡部賢一

農 地 管 理 室

- (併)室長 渡部勢津子
- 主査 渡部博一 (異)

農 業 委 員 会 事 務 局



局長 船山 高利 (異)

- 室長 渡部勢津子
- (併)主査 渡部博一 (異)

役場 3 階

議 会 事 務 局



局長 遠藤 純雄 (異) (昇)

議 事 室

- 主査 色摩里香 (昇)

監 査 委 員

- (併)書記長 遠藤純雄 (異) (昇)

監 査 室

- (併)主査 色摩里香 (昇)



町内小中学校 教職員の異動

the staff of a school

各
部
署
の
担
当
業
務

職
員
の
配
置

施
設
の
位
置
図

施
政
方
針
と
予
算

	転 出			転 入		
	職 名	氏 名	新任校名	職 名	氏 名	前任校名
第一小	校長	大道寺高明	退 職	校長	大村亨夫	蚕桑小(白鷹)
	教諭	大村奈保子	退 職	教諭	長沼静子	小松小(川西)
	教諭	松木泰子	荒砥小(白鷹)	教諭	酒井宏幸	鷹山小(白鷹)
	教諭	酒井浩樹	沖郷小(南陽)			
第二小	校長	原田榮藏	西根小(長井)	校長	高井耕次	手ノ子小
	教諭	竹田孝子	小松小(川西)			
手ノ子小	校長	高井耕次	第二小	校長	鈴木正実	陵南中(寒河江)
	教諭	酒井かね子	退 職	教諭	高橋清美	小国小(小国)
	教諭	市川秀樹	赤湯小(南陽)	教諭	安部 賢	北部小(小国)
添川小	教頭	梅津靖雄	北部小(小国)	教頭	浅田道夫	平野小(長井)
	教諭	飯澤恵美	退 職	教諭	色摩美由紀	荒砥小(白鷹)
	教諭	遠藤由美	玉庭小(川西)	教諭	武田俊英	豊田小(長井)
	教諭	河内 昭	北部小(小国)	教諭	鈴木麻実	新 採
飯豊中	校長	菅 美登	退 職	校長	横山一美	西根小(長井)
	教諭	沼尻貴行	置賜教育事務所	教諭	渡部泰広	長井南中(長井)
	教諭	鈴木新吉	長井北中(長井)	教諭	今 琢生	小国中(小国)
	教諭	丸川利英	長井南中(長井)	教諭	佐藤 純	小国中(小国)
	事務総括	伊藤純子	長井北中(長井)	教諭	長谷部明子	中津川中
中津川中	校長	梅津和吉	長井北中(長井)	事務主査	阿部一樹	新 採
	教頭	峯田秀行	第一中(天童)	事務主査	平 福子	小国中(小国)
	教諭	長谷部明子	飯豊中	校長	齋藤芳昭	東根小(白鷹)
				教頭	井上勝見	伊佐領小(小国)
			教諭	伊藤喜裕	白沼中(小国)	

新規採用 新しい町職員の紹介

new hiring staff



かん の く に あ き
主事補 菅野邦彰
(配属/教育文化課)

1975年5月生まれ。中在住。
98年亜細亜大学経済学部卒



しまぬきだいち
主事補 嶋貫大地
(配属/住民税務課)

1988年11月生まれ。萩生在住。
11年東北福祉大学総合福祉学部卒



かん の や す こ
主事補 菅野靖子
(配属/教育文化課)

1988年4月生まれ。椿在住。
11年新潟医療福祉大学健康科学部卒



たか は し ひろ こ
看護師 高橋浩子
(配属/健康福祉課)

1979年5月生まれ。高峰在住。
01年(財)三友堂病院看護専門学校卒



おお た あ つ み
保健師 太田淳美
(配属/健康福祉課)

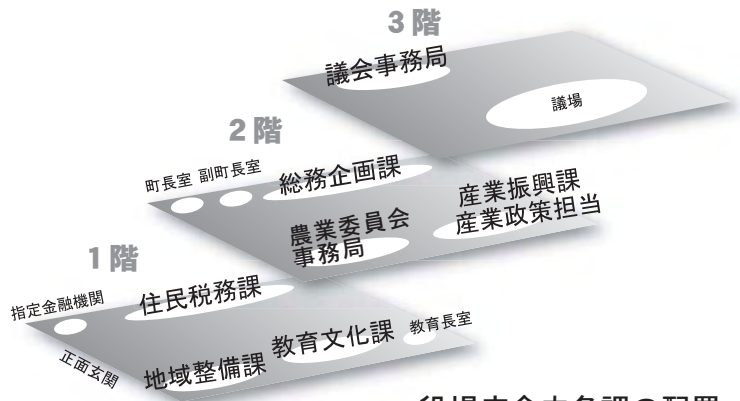
1989年2月生まれ。椿在住。
11年山形県立保健医療大学保健医療学部卒



施設の位置図

樫地内

map of public institutions



役場庁舎内各課の配置



至手ノ子

飯豊中町民スポーツセンター



役場庁舎

ガソリンスタンド
コンビニ

県道

至萩生

白樫地区公民館

健康福祉センター

- 健康福祉課
- 訪問看護ステーション
- 国保診療所
- 介護老人保健施設「美の里」

福祉事業所
「でんでん」



電器店

つばき保育園
なでしこハウス



簡易郵便局

薬局

学校給食共同調理場



町民総合センター「あ〜す」

- こどもみらい館

町社会福祉協議会
福祉の里めざみ
ひめさゆり荘2号館



至樫駅



至萩生駅



町政運営の基本方針と 主要な施策の概要

各部署の担当業務

職員の配置

施設の位置図

施政方針と予算



写真 こどもみらい館利用者の皆さん

希望を抱き、夢を語り合い、実現に向けて歩み続けることができる町に

施政方針

平成23年度

「にぎわいを再現する」ための
子育て支援と定住対策が重要

町長 後藤幸平

平成23年度においては、これまでの蓄積と成果の上に、さらに、「語り合うまちづくり」「耕すまちづくり」「育てるまちづくり」を推し進め、多様な事業を展開してまいります。

現在の国と地方を取り巻く状況から、国と地方の新しい関係や飯豊町のようないろんな自治体の在り方、行政と住民、地方議会の在り方にまで、より主体的で自律的な取り組みが求められていると認識しております。こうした状況を踏まえたとき、将来に向けた課題解決の糸口とは何なのでしょうか。展望はあるのでしょうか。

将来に明るい展望を開く条件は三つあると考えております。一つ目は環境と循環に軸足を置く社会の形成にあります。それは当然のことながら地方や農村の活性化と一体なものであり、同時進行すべきテーマであります。二つ目は若者の所得向上と定住条件の整備であります。戦後まもなく生まれた団塊の世代、その二世の定住を促し次世代の出生と成長を育むことが出来るかどうかは重要なポイントであると思われれます。三つ目は地域の力、地域コミュニティの活力をどう守り成長を促

すか、地域力を高める産業や仕事の創造、暮らしを支える新しい価値の創造、そのためのマンパワーの涵養と実行力の向上にあると考えております。

何と言っても人口減少に歯止めを掛け、かつての「にぎわいを再現する」ための子育て支援と定住対策が重要であります。本町の人口は、平成22年10月に実施されました国勢調査において7943人となり、残念ながら8000人を割り込み、人口減少が続いております。子どもの保育に要する負担の軽減などによる子育て支援と住宅地の造成などによる若者の定住を促進するための環境整備など、定住対策が重要であると考えております。

また、誰もが安心して暮らすことができる地域を実現するため、高齢者福祉や障がい者福祉施策にも力を入れなければならぬと考えております。

平成23年度は、第4次飯豊町総合計画、第4次行財政改革大綱の初年度でありますので、その着実な実行に向けて力強く第一歩を踏み出してまいります。

（平成23年度施政方針）から一部抜粋

主な重要施策

重要施策の中から一部を抜粋して紹介します。

『語り合うまちづくり』

人口減少に歯止めをかけるための施策

- ▷第2期となる「にぎわい再現プロジェクト委員会」の委員を公募。委員会の意見やアイデアで具現化
- ▷雇用の拡大と仕事づくりを目指し、作物栽培、食や料理、木工や建築などの「マイスター制度」や「仕事の学校制度」のソフト事業化の研究を進める

暮らしの利便性を向上させるための施策

- ▷7月の地上デジタル放送への完全移行にあたり、受信点調査に基づいた地上デジタル放送の難視聴対策
- ▷林道「飯豊桧枝岐線」の平成24年度開通に備え、ガードケーブルなどの安全施設を整備
- ▷手ノ子地区農業集落排水事業計画に着手。町内全体の生活排水処理施設の普及を図る

『耕すまちづくり』

町民所得の安定と向上のための施策

- ▷町独自の生産振興助成により農業者戸別所得補償制度の生産数量目標の円滑な達成を促す
- ▷高品質の農産物を生産し、加工、販売まで行うことで農家所得の向上を図る（6次産業化の推進）

- ▷役場庁舎にペレットボイラーを導入し、木質ペレットの利用拡大を図る

『育てるまちづくり』

子どもの教育と子育て支援

- ▷第3子以降の保育料の無料化及び保育料軽減に関する要件緩和を継続
- ▷第二小学校区に新たな放課後学童クラブを設置
- ▷地域内で育児の相互援助活動を行うファミリー・サポート・センターを設置
- ▷中学生までの入院費の無料化を継続
- ▷学校図書館司書的な業務を行う学校支援員を新たに設置し、読書活動を通じた教育を実践
- ▷手ノ子小学校の耐震診断調査に着手

地域力向上のための取り組み

- ▷地域づくり推進事業を倍増し、地域住民が自ら実施する活動への支援を充実
 - ▷「緑のふるさと協力隊員」を中津川地区に配置
 - ▷町民総合センター「あ〜す」開館20周年の記念事業
- #### 高齢者福祉の施策
- ▷訪問介護や訪問看護サービスについて町独自に介護給付券を発行し、利用者負担の軽減と介護サービスの充実を図る

主な事業の概要と予算額

●ペレットボイラー設置工事／4,750万円

役場庁舎に木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを設置し、木質ペレットの利用拡大と資源循環型社会の推進を図る。

●地域づくり推進事業／720万円

策定を進めている地区別計画に基づき、将来像の実現に向けた地域の主体的な取り組みなどへの支援を行う。

●緑のふるさと協力隊受入事業／471万円

地域活動などの交流をとおして、地域が抱えている課題への解決方向の提案や地域の魅力の情報発信など、地域の活性化を推進するため「緑のふるさと協力隊員」を中津川地区に配置する。

●町民総合センター開館20周年記念事業／176万円

記念事業として、NHKラジオ第1「真打ち競演」の公開録音や山形交響楽団・東京西六郷少年少女合唱団・埼玉県立桶川高等学校吹奏楽部の各演奏会開催や歌碑建立。

●在宅介護支援事業／1,000万円

在宅で生活する要介護3～5の方が、訪問介護や訪問看護などの居宅介護サービスを利用した場合に、月額最大8,000円の助成費を支給し、利用者負担の軽減とサービス充実を行う。

●ファミリー・サポート・センター事業／295万円

地域内で育児の相互援助活動を行うファミリー・サポート・センターを設置し、子育て環境の充実を図る。

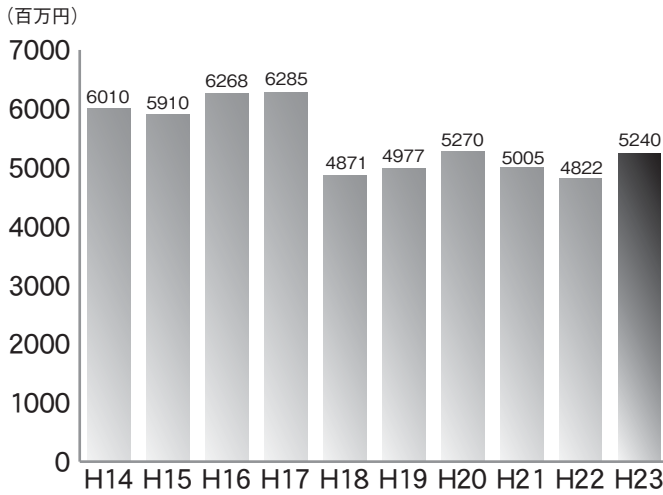
●予防接種事業／2,266万円

乳幼児の定期予防接種に加え、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の3ワクチン接種を実施する。

●住宅耐震等リフォーム補助事業／200万円

住宅のリフォーム工事に対し補助金を交付。住宅の質向上と住宅投資の波及効果による町内経済の活性化を図る。

一般会計当初予算の推移



町の予算

the town budget

最小の経費で最大の効果を

各部署の担当業務

職員の配置

施設の位置図

施政方針と予算

予算編成の基本方針

当面する政策課題に重点的な配分
 持続可能な財政運営を確保するために「最小の経費で最大の効果をあげる」という行財政運営の基本に立ち、当面する政策課題について重点的かつ効率的な配分に努めました。

編成した一般会計予算は、前年度と比較し8.7割増の52億4000万円。一般会計、各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は、前年度比6.6割増の83億7390万1千円となりました。

一般会計予算

町税は1.9%の減を見込む
 歳入の主なものを見ると、経済が本格的な回復軌道に乗っていないことなどから町税は前年度比1.9割減の5億9401万1千円、地方交付税は国の地方財政計画の増額措置を参考に前年度比9.2割増の27億5786万5千円、町の借金である町債は前年度比2.1割減の4億4750万円となっています。

歳出を性質別に見ると、人件費は、町長、副町長、教育長の給与減額および特殊勤務手当の支給停止は継続するものの、議員共済負担金の増額などにより、前年度比3.0割増の10億6845万5千円

一般会計総額52億4,000万円、前年度から8.7%増

となっています。また、公債費は過疎債や辺地債の償還終了などにより10.7割減の8億9819万4千円。扶助費は子ども手当などの増加により、前年度比17.0割増の4億1842万4千円となっており、義務的経費（人件費・公債費・扶助費）は予算総額の約46割を占めています。

補助費は介護基盤緊急整備交付金事業補助金などにより前年度比10.8割増、物件費は子宮頸がん等予防接種業務や雇用対策などにより6.7割増、繰出金は各特別会計への繰出などにより12.9割増となっています。

投資的経費は、社会資本整備総合交付金事業や庁舎ペレットボイラー設置工事などで前年度比103.8割と大きく伸びています。

また、歳出を目的別に見ると、土木費は社会資本整備総合交付金事業の増額などにより30.8割、農林水産業費は有機肥料センター機能強化工事などの増加により18.3割の増となっています。消防費は消防施設整備事業の完了などにより3.2割の減となっています。

特別会計・事業会計予算

全体予算額は3.2%の増

各特別会計および水道事業会計全体の予算額は31億3390万1千円で前年度対比3.2割の増と

なっています。

予算の使い道ですが、国民健康保険特別会計は2つの診療所の管理運営や保険給付費などが主なものです。

後期高齢者医療特別会計は、山形県後期高齢者医療広域連合への納付金がほとんどを占めます。

介護保険特別会計は、介護給付費が全体の約95割を占めています。訪問看護特別会計は、各家庭での介護ケアに当たる看護師などの人件費が主なものです。

介護老人保健施設特別会計は、「美の里」の管理運営のほか、スプリンクラー設置工事を実施します。

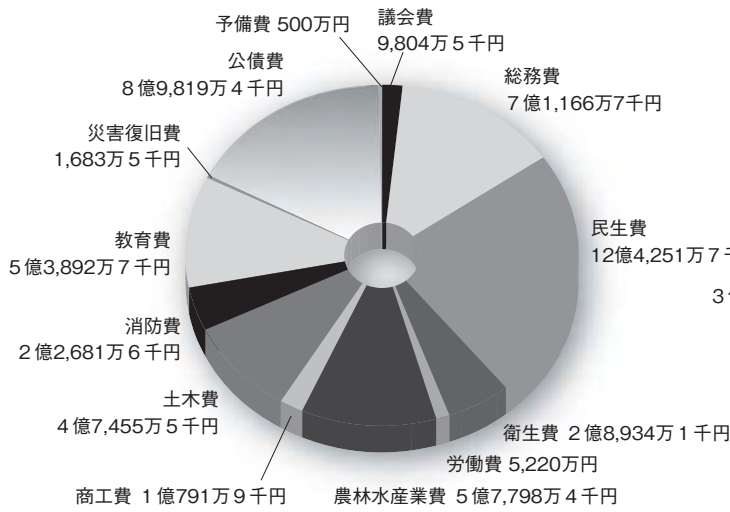
5つの財産区につきましては、例年同様に山林などの保全施設活動に力を入れながら、区有地や財産の適正管理に努めてまいります。

農業集落排水事業特別会計は、添川地区処理施設の建設および手ノ子地区の調査計画業務に取り組みます。生活排水個別処理事業特別会計は、浄化槽維持管理のほか、引き続き町設置浄化槽整備事業に取り組みます。

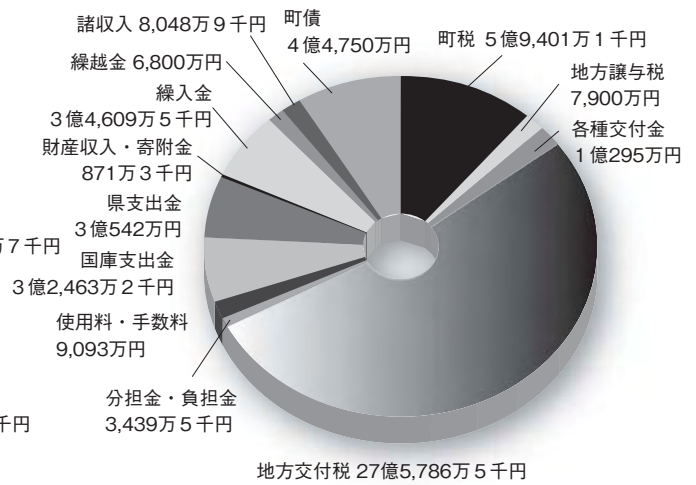
水道事業会計は、水道施設維持管理に努めるとともに、ライフライン機能強化事業で基幹水道構造物の耐震化などに取り組みます。

一般会計

歳出 52億4,000万円

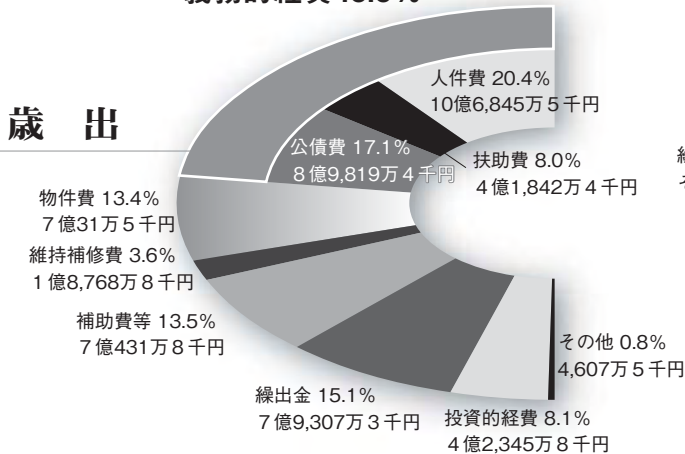


歳入 52億4,000万円

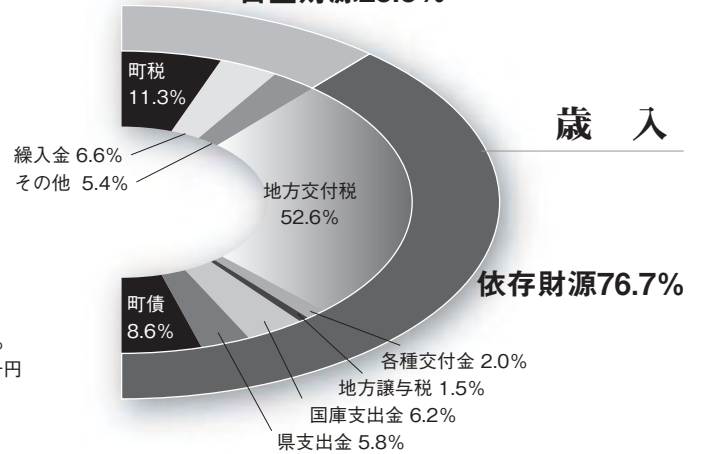


一般会計予算額の構成

義務的経費45.5%



自主財源23.3%



特別会計・事業会計

(単位：千円、%)

	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
国民健康保険			
事業勘定	833,809	813,754	2.5
直診勘定	138,697	134,942	2.8
後期高齢者医療	77,968	83,702	▲6.9
介護保険	1,032,395	850,114	21.4
訪問看護	18,640	18,902	▲1.4
介護老人保健施設	322,758	255,968	26.1
物品調達	17,509	19,529	▲10.3
老人保健	0	43	▲100.0

	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
萩生財産区	415	575	▲27.8
豊原財産区	339	581	▲41.7
添川財産区	3,063	3,961	▲22.7
豊川財産区	344	533	▲35.5
中津川財産区	10,773	6,536	64.8
農業集落排水事業	305,498	514,892	▲40.7
生活排水個別処理事業	45,955	44,874	2.4
水道事業			
損益勘定	184,168	196,952	▲6.5
資本勘定	141,570	90,657	56.2

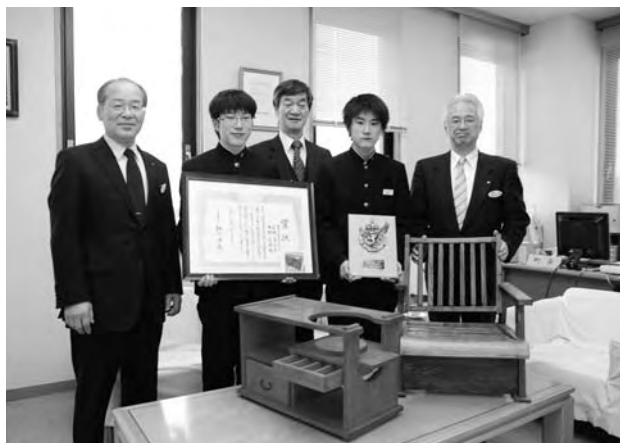
各部署の担当業務

職員配置

施設位置図

施政方針と予算

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



全国中学生創造ものづくり教育フェア厚生労働大臣賞受賞

使いやすさを追求した作品

中学生の木工技術を競う「全国中学生創造ものづくり教育フェア」で、飯豊中3年生（当時）の米野太郎弥さんと広瀬龍之介さんが共同製作したワゴンテーブルが、厚生労働大臣賞を受賞しました。大会は1月22日、23日に東京で開催。作品は、県産ケヤキを使用し、温もりあるデザインと、座椅子に座った姿勢でも引き出しなどの使い勝手の良さが特徴。二人は共に、「満足のいく作品だったので、入賞はとてうれしかったです」と感想を話してくれました。

第二小学校で紙芝居上演

郷土に根ざした創作紙芝居



3月2日、第二小学校の3年生から6年生を対象に紙芝居が上演されました。披露してくださったのは、米沢市在住の折原由美子さん。ダンボール紙とアクリル絵の具で作った創作紙芝居2作品を上演。中津川地区で菅笠^{すげがさ}づくりをするおばあちゃんの物語もあり、児童たちは目を輝かせて鑑賞していました。折原さんは「絵は、上手に描こうとするよりも、元氣よく描くことが大切」とアドバイスしていました。

男性のための料理教室

包丁を自ら握って食を学ぶ



3月2日、健康福祉センターで「男性のための料理教室」がありました。参加者12名は、食事による生活習慣病予防を学んだ後、早速、料理に挑戦。食生活改善推進員の方の指導の下、「雪菜と牛肉の中華風炒め」や「しらこ汁」など4品目を作りました。参加者の一人、佐藤順一さん（黒沢）は、「料理をして妻の大変さがわかりました。普段の食事の大切さとありがたみを実感しました」と話してくださいました。



東京飯豊会総会

結成50周年を盛大に祝う

3月6日、都内のホテルを会場に東京飯豊会総会が開かれました。当会は、今年で創立50年を迎え、首都圏などに住む会員約150名が集い、その節目を祝いました。さらに記念企画として小白川神社が招かれ、総勢34名が参加して獅子舞を披露。会場は祝賀ムードに包まれました。山口弘二会長(所沢市)は、「当会では、町に桜の木30本の植樹を計画しています。これからも故郷とのつながりを大切にしていきましょう」と参加者に呼びかけました。

町内園児の手づくり雛人形展

個性豊かな234作品が揃う



3月5日から21日にかけて、めざみの里観光物産館で「町内園児の手づくり雛人形展」が開かれました。14回目となる今年は、保育園や幼稚園などの幼児施設のほか、学童クラブからも出品があり、個性豊かな234点の雛人形が会場いっぱいに飾られました。8日には、つばき保育園と添川児童センターの園児が見学を訪れ、自分が作った雛人形を見つけると、ひときわ大きな歓声が上がっていました。

なかつがわ農家民宿が東京でPR活動

飯豊町さ、ござっとうえ



3月10日、東京・銀座にある山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」で、なかつがわ農家民宿組合が誘客のPR活動を行いました。組合員と関係者6名が、ショップ内のお客さまに山菜汁を振る舞い、「中津川は美しい自然に囲まれ、食文化も豊かです。ぜひ遊びに来てください」と呼びかけました。お客さまからは「山菜汁はとても懐かしい味で、おいしいです。ぜひ行ってみたいですね」との声が聞かれました。



町内小中学校卒業式
(各小中学校)



中長生会わらじづくり
(中公民館)



こどもみらい館ひな祭り
(こどもみらい館)

直伝おふくろの味

ゆべし

昔から親しまれてきた郷土のおやつ



【材料】

◇もち粉

◇味噌

◇砂糖

◇水

◇クルミ

◇ゴマ

適宜	適宜	180	100	45	300
		cc	μg _ラ	μg _ラ	μg _ラ

【作り方】

- ① 味噌、砂糖を水で煮立たせ溶かす。
- ② 冷ました①にもち粉とクルミを混ぜ合わせ、耳たぶぐらいの固さになるまでこねる。
- ③ ②を食べやすい大きさに丸め、アルミカップまたは笹の葉にのせ、蒸し器で蒸す。
- ④ 蒸しあがった③にゴマをかけて出来上がり。

大震災が郷土料理を見直す機会になりました

私が幼少のころから親しんできたゆべしを紹介します。母親の手伝いをしながら見よう見真似で覚えたものです。ゆべしは、ほどよい固さに仕上げるのが難しく、特に市販のもち粉を使うと、柔らかくなりすぎるので気をつけてください。

ポイントは、作り方②で、水の量を加減しながら、根気良くしつかりとこねることです。蒸す前には冷蔵庫で1〜2時間程度冷やすと、崩れにくくなるようです。

また、アルミカップを使うと型崩れしませんし、食べるときは手を汚さず、食べやすく便利です。

このたびの大震災で、あらためて食べ物への尊さを実感しました。外からのものに頼りすぎることなく、身近にある地元の食材を使った郷土料理を見直す機会となりました。



高峰地区
食生活改善推進員
伊藤にしきさん

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



シリーズ第1弾：スポーツ少年団

飯豊町卓球スポーツ少年団

- ◆監督／加藤明宏さん(椿)
- ◆指導者／佃栄彦さん(小白川)
井上敦さん(椿)
- ◆団員／12名
- ◆練習日／毎週水曜日(19:00～20:30)

●スポーツ少年団入団などのお問い合わせは、役場教育文化課生涯学習振興室まで☎72-2111内線162

毎週土曜日(8:30～10:30)

◆練習場所／中部地区公民館、白樺体育館

◆団員募集対象／町内小学生・男女

◆クラブのピーアール

町卓球スポーツ少年団は、設立2年目の若いクラブです。それでも昨年は、置賜地区大会で準優勝し、県大会出場を果たしました。「卓球の基本を反復練習することが大切。練習のがんばりが結果につながることを子どもたちに学んでもらいたい」と加藤監督は話します。飯豊町に卓球人口を増やすこと。それが指導者の皆さんの願いです。初心者大歓迎、団員募集中です。



加藤監督にとって卓球とは…

心算とモに成長し、
人生のながりにつながる
スポーツ

◀加藤明宏監督

連載 随想

町長の息づき

23

後藤 幸平

「失意の底から、復興へ」

ガサツと三階の屋根から雪の塊が落下した。何事だと思ふ間もなく襲った突然の大振動。地震だ。新年度予算が議会で可決され、今回も本質に迫るいい質疑内容だったとホッと反芻していた三月十一日十四時四十六分。巨大地震と大津波、原発事故発生の瞬間である。

昭和三十九年六月十六日発生の新潟地震。あの時と同規模の揺れと直感した私たちは、十五時に対策本部を立ち上げ町内の被害状況把握に当たることになった。余震が次々と続く中でテレビに映し出される実況中継の映像は、誰しもがわが目を疑うばかりの惨状である。一箇月余り経つたいま、死者と行方不明者の数は三万人に及ぶかという大災害となつてしまったのである。

防災対策は基本である。常々計画や訓練を重ねていた。しかし、水、電気、排水処理施設、燃料、食料や生活必需品が止まり、東北地方太平洋岸のみならず東日本の産業が一斉に操業不能に陥って、物資の輸送や鉄道が止まるなどという状況はいっ

たい誰が予測しただろうか。映画やSF小説が現実となつてしまった。愛する家族や仲間を失い、暮らしたり仕事、学校や地域を根こそぎに失う悲しみとはどれほどのものだろう。何もかも津波にさらわれても命あつて家族が再会できた奇跡を伝えるうれしい報道の一方で、瓦礫と汚泥の中にわが子を捜し続ける若い父母の姿に、どのような慰めもありようがなく、あまりの悲しみで胸がいっぱいになった。

飯豊のまちづくりは、大自然の恵みと畏敬を前提にしつつ「共に生きる」「課題に立ち向かう」「人間力を養う」であると何度も語り合ってきた。いま被災された人々に手を差し伸べることもなくして飯豊のまちづくりはない、隣人の苦しみを共有することなくして町のどんな将来像も描けないのではないかとあらためて思うのである。

議会も地域住民も職員も、知恵と力と心を合わせてこの難局を乗り切ろうと動き出した。失意の底から立ち上がり、いま復興へ向かう。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

わくわく♪おはなし広場

- ◆日時／4月24日(日) 10:30～11:30
- ◆会場／こどもみらい館
- ◆内容／お話を聞こう！絵本・紙芝居の読み聞かせ ○作って遊ぼう！
- ◆参加費／無料
- ◆対象／おおむね3歳から小学3年の児童とその保護者
- ※小学生は子どもだけでも参加可
- ◆申込締切／4月20日(水)まで
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」☎72-3111

地域の文化活動を支援します

- ◆対象／①歴史的な建物や空き店舗などの遊休施設を活用した文化イベント ②市町の枠を超えた複数の団体が一緒に実行委員会を作って行う広域的なイベントや人材育成事業
- ◆支援内容／置賜文化フォーラムが共催負担金として40万円を上限に負担
- ◆申請方法／申請書を下記まで提出
- ◆申請期限／5月6日(金)
- ◆申請・問合せ先／置賜文化フォーラム事務局(置賜総合支庁総務企画部地域支援課内)☎0238-26-6018

困ったら一人で悩まず行政相談

4月1日付けで総務大臣から五十嵐眞さん(手ノ子)が当町担当の行政相談委員に委嘱されました。行政相談委員は、役所の業務に対する苦情、要望、意見などの相談を住民の皆さんから受け、相手機関の改善が促されるよう働きかける仕事をしています。

- ◆問合せ先／総務省山形行政評価事務所☎023-632-3113

子宮頸がん・小児用肺炎球菌・ヒブワクチンについて

- ◆子宮頸がん予防ワクチンについて
子宮頸がん予防ワクチンの接種希望者が増加し、ワクチンが不足しています。そのため、すでに1回目を接種した方を優先して接種し、初回接種の方は供給量が回復次第となります。それに伴い、対象年齢を高校2年生相当の方まで引き上げることにしましたので、平成24年3月までに3回の接種を完了してください。接種は各医療機関へ確認、予約の上、お願いします。
- ◆小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの接種の再開について
3月初旬以降に接種後の死亡例が報告されたのを受け、厚生労働省・山形県からの指示で予防接種を一時見合わせておりました。その後、厚生労働省の調査の結果、ワクチンの接種と死亡例との間に、直接的な因果関係は認められないとわかりました。これを受け4月より予防接種を再開します。
- ◆留意点
上記の予防接種はいずれも希望者が行う予防接種です。接種については対象者・保護者の皆さんの充分なご理解の上で、接種をお願いします。
- ◆問合せ先／町健康福祉課健康医療室☎86-2338

山形県春季火災予防運動

4・5月は空気が乾燥することから例年火災が多発しています。焚き火や火入れの際は、風の強い日を避け、行うときは、消火のための水などを準備しておきましょう。

- ◆問合せ先／消防署飯豊分署☎72-2222

緊急雇用創出臨時職員を募集します

雇用・就業機会の創出を目的に町では下記の臨時職員を募集します。

- ◆職種・募集人員／一般事務助手1名
- ◆業務内容／上下水道施設台帳整備業務
- ◆雇用期間／平成23年5月6日～平成23年9月30日
- ◆勤務条件
 - 勤務時間／8:30～17:15
 - 賃金／5,800～6,000円
※通勤費別途支給
 - 休日／土・日曜日、祝祭日、年末年始休業日
 - その他／社会保険、雇用保険加入
- ◆申込期限日／4月22日(金)
- ※郵送の場合は22日まで必着
- ◆受付時間／8:30～17:00
- ※土・日・祝祭日を除く
- ◆応募資格／性別・住所は問いません。行政事務などが適切にでき、秘密保持や公平公正な事務執行などは職員と同様です。ワードおよびエクセルの一般的操作が可能な方とします
- ◆決定方法
書類および面接により決定します
- ◆面接実施予定日／4月27日(水)
- ◆申込書の請求／申込書は、役場総務企画課総務情報室で直接交付。郵便で請求する場合は、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角2号)を同封し、請求ください
- ※申込書は、町ホームページからも入手することができます
- ◆申込方法／申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付して下記の申込先まで提出ください
- ◆申込・問合せ先／役場総務企画課総務情報室☎72-2111内線223



(3月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名

椿 長谷川 史 弥さん
 (小国町 伊藤 絵 美さん)

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親

椿 鈴木 歩 夢くん (司 美直)
 萩生 本間 心 結くん (秀 章子 聡)
 小白川 菊地 蓮 彩ちゃん (正 文美 玲)

心からおくやみ申し上げます

住所 氏名 年齢

椿 財津堂 長 沼 イチエさん 96
 添川 上代 梅 津 吉 一さん 55
 小白川 下野 原 田 銀 作さん 90
 添川 (めだ) 木 村 ともゑさん 83
 添川 (めだ) 加 藤 新 次さん 87
 添川 下川原 渡 部 たつよさん 96
 添川 上町 相 藤 純 二さん 46

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		3月分 () 内は対前月比	
世帯数	2,370 (-12)	転入	13
人	男 3,952 (-21)	転出	49
	女 4,185 (-20)	出生	3
口計	8,137 (-41)	死亡	8

狂犬病予防注射を忘れずに!!

室内犬、室外犬にかかわらず、生涯に1回の登録と、年に1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられています。町では、下記の日程で狂犬病予防注射を行いますので、都合の良い会場にお越しください。

期 日	時 間	場 所
4月21日(休)	9:00~9:20	勤労者研修センター前
	9:30~10:10	中公民館前
	10:20~11:10	中部地区公民館前
	11:20~11:50	白樺地区公民館前
	13:10~13:50	東部地区公民館前
4月22日(金)	14:00~14:30	小白川公民館前
	9:00~9:40	西部地区公民館前
	9:50~10:10	高峰多目的集会所前
	10:40~11:00	中津川地区公民館前
	11:20~11:30	旧中津川小学校小屋分校前
	13:15~14:15	白樺地区公民館前

※注射の際に犬を押さえることのできる方が会場に犬を連れてきてください

※狂犬病予防注射は1頭1針で実施しています

※都合により会場が変更になる場合があります

◆持ち物

- 案内のハガキ
- 注射料金 3,100円
- 鑑札(金属性で楕円形のもの)

◆事前の届け出

次の場合は、事前に役場住民税務課生活環境室へ届け出をしてください。

- 犬の登録をまだされてない場合
登録料 3,000円・印鑑
- 鑑札を紛失した場合
再交付手数料 1,600円・印鑑
- 犬の死亡・住所または飼い主変更した場合
鑑札・印鑑

◆上記の日程で注射を受けられない方
近隣の狂犬病予防注射業務指定獣医師にご相談ください。料金は来院

3,600円以上、訪宅 4,200円以上となります。また、その際に注射済票または証明書が必ず発行されますのでご確認ください。

◆予防注射済票について

狂犬病予防法では、「注射後は、犬に注射済票をつけておくこと」が定められています。接種後、首輪と予防注射済票とをつなぐ結束バンドが配布されますのでご使用ください。

◆問合せ先

役場住民税務課生活環境室

☎72-2111内線132

置賜保健所生活衛生課

☎0238-22-3750

東北地方太平洋沖地震

義援金の受付について

町では、役場、町民総合センター「あ〜す」、健康福祉センターにて、被災地へ送る義援金を受け付けています。引き続き皆様のご支援をよろしくお願い致します。

◆問合せ先

町健康福祉課福祉室 ☎86-2233

◇津波の脅威、迷走する福島第一原子力発電所の事故、東北人の忍耐強さ。東北地方太平洋沖地震は、世界中が同情を示しながらも、強い関心を寄せ続けています。▽中国の新聞は「自然災害は、社会のせい弱なところを容赦なく攻める」と解説したそうです。正鶴を射て、日本、飯豊町、そして我が家における「せい弱なところ」が浮き彫りになりました。その結果、今までのあいまいだった「備え」という認識が明瞭に▽東北地方復興の長い道のりの中で、自分のできることは何か、自問の日々は続きます。(横山)



文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真/町では最も古い絵馬「草摺挽図」。絵馬「神人曳馬図」と共にお堂内で保管されている

Treasures in Iide Town

7

selection

天養寺観音堂 絵馬 草摺挽図、神人曳馬図

くさずりひきず じん にん ひきま ず
 昭和60年度町指定有形文化財（絵画）指定

Interview

守り続ける人たち



天養寺観音堂 檀家役員
 長岡 幸一郎さん
 (中)

火の元と虫食いに最も注意して管理

草摺挽図と絵馬神人曳馬図は、もともとはお堂の外に飾られていた絵馬でしたが、文化財としての価値が高いことがわかり、風化から守ろうとお堂内に移しました。かつては色鮮やかな絵馬だったと伝え聞いております。しかし残念ながら長年の間に退色してきました。

絵馬ばかりでなく、お堂や木造聖観音立像もまた、木でできているものばかりです。そのため私たちが管理する上で、火の元と虫食いに細心の注意を払っています。

「先輩たちが守ってきたものを守る」という気持ちで、私たちは天養寺観音堂の維持管理に当たってきましたが、今後どのように次の世代に引き継ぐかが課題となっています。

解説

絵馬 草摺挽図、神人曳馬図

絵馬「草摺挽図」は縦174.2cm、横180.5cmで、武運長久を祈って武者絵を描き奉納された。作者は不明だが、元禄13年6月17日、吉田儀七なる者が奉納している。彩色された板図で飯豊町では最も古い絵馬である。

絵馬「神人曳馬図」は縦横各々151.7cmの方形で、元禄15年6月17日に奉納された。彩色された板図で、「草摺曳図」に次いで古い。奉納者は渡部作之丞で、作者は谷口吉信と明記されている。もともと民衆の祈願の際は生馬を奉納したが、時代を降るにつれ土製や木製の馬形を奉納するようになった。馬は神を迎える動物といい、神は白馬に乗って来ると考え、馬に対しての民衆信仰があつた。

いずれも昭和60年2月に町の有形文化財（絵画）に指定された。